（別紙様式２）平成２３年度学校業務改善実践事例普及推進事業　推進校　実施報告書

学校名　淡路市立津名中学校

学級数	１４学級	児童生徒数	４４６名

校内委員会

(1)名称

・業務改善推進委員会（通称：業務改善ＰＴ）

(2)協議・検討内容

・年度当初に実施した実態調査等を基に、課題の精選、取組内容の計画。取組状況の確認と反省。

(3)成果と課題

・委員会（通称：ＰＪ会議）を、定例化（毎月第1水曜日）できたため、取組全体を計画的に実施できた。

・構成員として、各学年より1名ずつ出席していたため、業務改善についての協議の場が、学年会にも広がった。

１．実践校の取組内容（計画書の取組項目を記載）

・学校ルールブックの作成
・電子ファイルの共有
・校務、業務の効率化やＩＴ化
・学校事務の改善について
・研修、会議等の効率化
・勤務環境について

２．取組の具体的内容

・実態調査

業務改善の実施計画作成のため、「勤務時間適正化プラン」の「各学校が主体的に取り組む内容」を用い、全職員に対して調査を実施。

・スッキリＯＦＦＩＣＥ！！大作戦（事務机等の整理整頓、机上のフラット化）

ルールやマナーの遵守に対する意識が低く、昨年度からの取組である、「ルールブック」「共有フォルダ」について、実効性が低くなっていた。そこで、仕事の基本とも言える、職員室の机上整理を通して、意識の徹底を図った。具体的な取組は、以下のとおり。

＊「チェックリスト」を用い、月１回のパトロールを実施し、結果を公表。規範意識のバロメーター。
＊「ストックＢＯＸ」を用い、文房具類の余分なストックを回収。また、「ベストワン」を使用するよう求めた。
＊「校務分掌ファイル」等を整備し、紙媒体も共有化を行い、私有（私蔵）を減らす。また、情報の相違、漏れ、紛失も減少。担当者が不在時にも、対応が可能。
＊事務机を整理するためには、周辺の個人ロッカーや更衣室、教材室等の整理も必要となるため、学校全体の整理整頓へと繋がった。
＊校内メールの活用や共有化により、回覧板や広報等の配布物を廃止し、机上をフラットな状態に。
＊机上整理により、情報漏洩防止にも繋がった。

・校内研修の実施

夏季休業中（8月）に、全職員が参加し実施。「津名中の教師のゆとりを生み出すには」というテーマで、班別協議を実施。また、昨年度作成した「津名中ルールブック」の見直しを行い、9月に改訂版（Ver.2）を発行。

・メールチェックの習慣化（打ち合わせの見直し）
　教頭より職員へ「デイリーメール」を配信。デイリーメールの内容は、主に「本日の行事予定」「職員動静」「連絡依頼事項」。毎朝のメールチェックを義務化し、活用を促進。また、連絡事項の伝達を、メールに一本化することで、職員朝会等、打ち合わせの時間を大幅に短縮。
・学校日誌の電子化
　Excelで作成。既存の行事予定表とのデータ共有による効率化。
・休暇の取得促進
　定期考査期間中に、年休等を計画的に取得。「年休（代休）取得計画表」を使用。全職員に伝わるように掲示。管理職からの助言、声掛け。
・校時表の見直し
　昼休みを5分延長し、教師と生徒にゆとりを持たせる。
・ルールブックの見直し
　8月の行内研修時に見直し、9月に改訂版（Ver．2）を発行。
・校務分掌の見直し
　8月の行内研修時に見直し、3月に「校務分掌業務一覧表」を発行予定。
・Excel、Wordの研修
　校務の情報化を推進するため、外部講師を依頼し、全5回実施。
・メールマガジンの配信（業務改善メルマガ）
　業務改善ＰＪ会議の会議録や、取組経過等を配信。

3．取組の成果

・会議、打ち合わせ時間の短縮。
・年休（代休）の取得が増加。
・事務処理の遅滞が改善。
・物を探す時間が短縮。書類の紛失事例が減少。
・職場の美化により、モチベーションがアップ。
・職員の意識が変化。

4．取組の際の工夫点や留意点

・「5．各学校での取組活用のためのアドバイス」参照

5．各学校での取組活用のためのアドバイス

・目的を明確に。動機付けが重要。
・すぐに結果が出るとは限らないので、見直しを行いながら、根気よく取り組む。
・管理職のリーダーシップが試される。
・全職員が参加。一部の職員だけの取組とならないように。
・共働と共育を意識。職員の意識改革。
・業務改善の取組を通して、世代の区別なく、「ルール・マナーの遵守（規範意識）」「チームワーク（私たちは、一人ではなく、チームで仕事をしている）」「働き方」を考え、身につけなければ、実効性が無い。

6．取組後の職員の主な意見

・校内メールは、今や無くてはならないものになった。
・今年度より始めた、整理整頓に関する取組は、昨年度からのルールブックやファイルの共有化と合わさって、効率化についての効果が、比較的早く表れたと感じる。また、精神的にも楽になったと感じる。
・1、2年で効果が表れるものではなく、継続していかなければならない。
・人事異動もあるので、取組を他校にも広げていってほしい。

7．次年度の学校業務改善に係る取組について

・今年度の取組を継続し、徹底していきたい。
・市内の小中学校にも、本校の取組を広げていきたい。